

アテネのフクロウコイン研究余話①



鳳凰山 神野良英

似て非なるもの

フクロウコインの連載が終わり、ホッと一息ついている今日この頃ですが、先日、新しい子（「前半期」類・STARRグループII）との出会いがあり、ここに紹介させていただきます。

私の悪癖の一つとして、「ある目標」が達成されると気が抜けるとでもいうのか、急速に興味を失いがちになってしまふのですが、フクロウコインにはそのようなよんだ空気？をも一掃する不思議な魅力が存在し、新たな収集意欲すら湧いて来るものなのです。

さて、残念ながら連載中には入手の叶わなかったグループIIですが、グループIIIと非常に近似し、これらを瞬時に判別できる方はよほど名のあるコレクターに違いありません。

ちなみに、このグループII、有名なデカドラクマ貨（BC467～BC465）と同時代のものというところもあって、女神アテナの雰囲気など、まさに瓜二つといっても過言ではありません。

デカドラクマ貨の入手が非現実的なこのご時世、こちらを眺めることではしばし溜飲を下げることに致しましょう。

【前半期】STARRグループII
BC470

グループIIのアテナの髪型は、グループIと同様の「ドットタイプ」や、後のグループIIIに引き継がれる「ウェーブタイプ」（横髪が上）などバラエティに富みます。

掲載品は「ウェーブタイプ」で、グループIIIとの判別が最も難しいタイプとなりますが、「似て非なるもの」でもありますし、しっかりと分けていきたいところです。

【前半期】STARRグループII（SEAR2518）24,5mm



グループIIとIIIの判別には表のオリブのつぼみの向き（IIは上～横）を見るのがよいでしょう。その他、グループIIのアテナはデカドラクマ貨と同様、その微笑に幾ばくかの硬さが見られるようです。

【前半期】STARRグループIII
BC465～BC460

グループIIIのアテナの髪型は、「ウェーブタイプ」（横髪が上）の一種のみとなります。

研究⑧で触れたように、グループIIとの区分はアテナやフクロウの大きさ（IIIは全体的に大きい）に加え、ヘルメットに描かれるオリブのつぼみの向き（一般的に上～横がII、横～下がIII）で総合的に判断されるようですが、直感（第一感）も重要となるかもしれません。

【前半期】STARRグループIII（SEAR2519）23,8mm



グループIIIのアテナの表情は柔和となるものが多いようです。表のオリブのつぼみの向きは横～下となり、このような「分類上の急所」を逸早く押さえることが理解への近道になると思うのです。